

第 23 回山形県作業療法学会開催要項

1. テーマ 『見せる・魅せる・作業療法！ ～私たちは、そばにいます～』

学会テーマ「見せる・魅せる・作業療法！～私たちは、そばにいます～」は、これから私たち作業療法士自身がそれぞれの役割を認識し、作業療法ができることを見せながら、魅せて（伝えて）いこう、そして対象者の方に寄り添っていこうという思いを込めております。

2. 学会趣意

現在の作業療法士のあり方は、国の施策としての「地域包括ケアシステム」の中での活躍が求められています。しかしリハビリテーション分野における作業療法に対する理解はまだ十分に周知されておらず、私たち作業療法士に何ができるのかを明確に伝えていく必要があります。今学会では、県内に勤務する作業療法士が、「地域包括ケアシステム」の中での社会的役割とは何があるのか、何が求められているのかを学会を通して自己認識する機会としていきたいと思っております。

特別講演では、日本作業療法士協会の中村春基会長より「私たち作業療法士にできること～地域包括ケアシステムの中で～」と題し、ご講演を頂く予定です。また関連職種の方にも限定公開としまして、地域で対象者に関わる職種の方との連携を深めていきたいと考えております。一般公開では、近年注目され、作業療法の分野でも認知症初期集中支援チームなど力を入れている「認知症」に対して、作業療法士の比留間ちづ子先生より「認知症の理解」や、「認知症があっても地域で幸せに暮らすということ」に関わる立場からのご講演を頂き、対象者や家族に寄り添っていくことに対して共感していきたいと思っております。

さらに今学会では、日本作業療法士協会が推奨している「生活行為向上マネジメント」に対する研鑽を深めていくつもりでおります。これは「作業療法の見える化」のツールとして広く皆様に作業療法の理解を深めていただけるものとなっており、作業療法が出来ることをわかりやすくお伝えする機会にしたいと思っております。

会員の皆様、関連する数多くの団体の皆様と共に有意義な時間が共有できることを願っております。

3. 会 期

平成 27 年 5 月 16 日（土） 9：30～17：50
17 日（日） 8：45～12：20

5 月 16 日(土)	内容	5 月 17 日(日)	内容
9:30～	受付開始	8:45～	受付開始
10:20～10:45	開会式	9:15～9:55	演題発表
11:00～11:20	生活行為向上マネジメント レクチャー（長谷川敬一氏）	10:15～11:45	特別講演（中村春基氏）
11:25～12:10	指定演題発表・演題発表	12:00～12:20	閉会式
13:00～14:30	一般公開講座 （比留間ちづ子 氏）		
14:40～15:25	指定演題発表・演題発表		
15:45～16:45	総会		
17:00～17:50	ミニレクチャー		
19:00～	懇親会（山形国際ホテル）		

4. 会 場

山形テルサ
山形市双葉町一丁目 2 番 3 号
TEL 023-646-6677

5. 内 容

- ・特別講演（関連職種限定公開）
「私たち作業療法士にできること～地域包括ケアシステムの中で～」
中村 春基 氏（日本作業療法士協会会長）
- ・一般公開講座
「認知症の人が家（地域）で暮らすということ～その人に寄り添って～」
比留間 ちづ子 氏（若年認知症社会参加支援センター「ジョイント」所長）
- ・演題発表 一般演題・指定演題（「認知症」・「生活行為向上マネジメント」）
29 演題を予定しています。
- ・「生活行為向上マネジメント」については、レクチャーを頂く予定です。
長谷川 敬一氏（竹田総合病院・福島県作業療法士会会長）
- ・ミニレクチャー（山形県士会員のみの参加となります）
「リンパドレナージ」 講師 山形大学医学部付属病院 作業療法士 村川 美幸氏
作業療法士 佐々木 健氏
「ハンドセラピー」 講師 山形済生病院 作業療法士 笹原 寛氏
「急性期脳卒中に対する作業療法
～評価から治療～」 講師 山形市立病院済生館 作業療法士 椿野 幸子氏
「認知症出前講座」 講師 認知症出前講座普及委員会
「認知症のフェースシート」 講師 小原病院 作業療法士 丹羽 正彦氏
- ・機器展示
4 社の展示を予定しています。
- ・高校生のための作業療法ミニレクチャー
作業療法の取り組みや進路に関する紹介などをおこないます。

6. 参加費

両日参加 4,000 円（会費未納者 8,000 円 他職種・他県士会員 6000 円 学生 1,000 円）

1 日参加 2,000 円（会費未納者 4,000 円 他職種・他県士会員 3000 円 学生 500 円）

***一般・関連職種の方で一般公開講座へ参加される方、関連職種で特別講演に参加される方は無料となります。お申し込みは不要です。**

*一般社団法人山形県作業療法士会の規定により、作業療法士で非会員の方は一般公開講座を含めて学会参加ができなくなります。作業療法士の方は、当日、会員証の提示をお願いいたします。尚、4 月入職者を除き学会当日において、平成 27 年度会費未納者は、上述のようになりますのでご注意ください。

7. 申し込み方法および締め切り

お申し込みは、山形県作業療法士会ホームページからの事前申し込みとなります。申し込みフォームに必要事項を入力し、平成 27 年 4 月 10 日（金）までお申し込みください。尚、第 1 日目に開催されますミニレクチャーに参加される方は、人数把握の関係上、希望されるレクチャーを選んでください。また、参加される方は山形県士会員に限らせて頂きます。レクチャーによりましては、参加を制限する場合もございますので、あらかじめご了承ください。ご協力お願いいたします。

山形県作業療法士会ホームページアドレス：Yamagata-ot.jp

ホームページからの申し込み方法：「トップページ」→「会員の皆様へ」→「山形県作業療法学会」→「学会申し込みフォーム」の順にお進みください。

8. 宿泊

宿泊はご用意しておりませんので、各自で手配をお願い致します。

9. 懇親会

県士会会員が一堂に集まる機会です。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：平成27年5月16日(土) 19:00～

会場：山形国際ホテル

〒990-0039 山形市香澄町3-4-5 TEL 023-633-1313

会費：5,400円

10. 後援団体

山形県、山形市、天童市、上山市、寒河江市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、一般社団法人山形県医師会、一般社団法人山形県歯科医師会、一般社団法人山形県薬剤師会、公益社団法人山形県看護協会、公益社団法人山形県栄養士会、一般社団法人山形県歯科衛生士会、社会福祉法人山形県社会福祉協議会、社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会、山形県精神保健福祉会連合会、一般社団法人山形県老人福祉施設協議会、山形県老人保健施設協会、一般社団法人山形県介護支援専門員協会、一般社団法人山形県理学療法士会、山形県言語聴覚士会、一般社団法人山形県介護福祉士会、一般社団法人山形県社会福祉士会、山形県医療ソーシャルワーカー協会、山形県精神保健福祉士協会、公益社団法人認知症の人と家族の会山形県支部、公立大学法人山形県立保健医療大学、学校法人諏訪学園山形医療技術専門学校

11. 学会に関するお問合せ先

介護老人保健施設 景雲荘 渡邊 里美

〒990-1101 山形県西村山郡大江町左沢 1187

TEL 0237-62-3155 FAX 0237-62-3156

電子メールアドレス：rihakeiunsou@yahoo.co.jp



【学会長紹介】

氏名 伊藤 朋子 (寒河江市立病院)

略歴 山形市出身

平成2年3月 群馬大学医療技術短期大学部 卒業

平成2年4月 寒河江市立病院入職。整形外科疾患、脳血管疾患などを
中心に身体障害、主に老人分野を担当

平成18年9月 寒河江市障害程度区分判定審査会委員

平成26年4月 寒河江市立病院 リハビリテーション室 副技師長

現在に至る

【学会会場案内図】

JR山形駅より徒歩3分

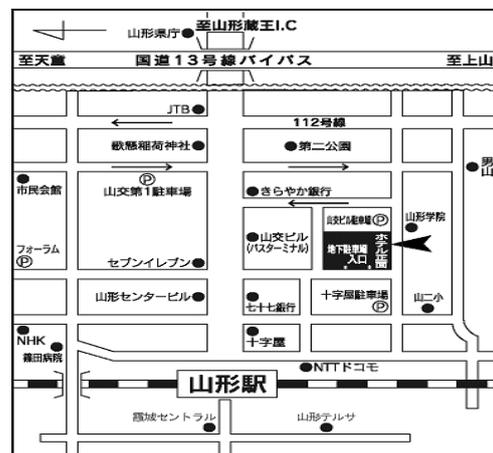
会場には270台程度収容可能な有料駐車場あり



■P: 山形駅西花笠パーキング ●P: 民間駐車場

【懇親会会場案内図】

JR山形駅より徒歩5分



第 23 回 山形県作業療法学会演題一覧

- ・ 目標共有から在宅生活のイメージへ結びついた症例
～前向きな姿勢への変化～
鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院 今野 華奈
- ・ 畑仕事の再開から地域行事の参加へ結びついた症例
～生活行為向上マネジメントを用いて～
みゆき整形外科クリニック 高橋 明子
- ・ 今の生活の目標を見つけてみよう
精神科デイケアで生活行為向上マネジメントを使用して支援した一症例
山形さくら町病院 船山 晃平
- ・ 肩甲胸郭関節機能不全に起因した神経症状を呈する頸椎症の一症例
山形徳洲会病院 半田 隆史
- ・ 上肢機能改善にて食事動作の確立を目指した頸部神経根症の一症例
済生会 山形済生病院 伊井 佐織
- ・ 自動車教習所との連携により、運転の再獲得に向けて介入した症例
～上腕骨骨幹部骨折術後の外来リハビリでの関わり～
至誠堂総合病院 石澤 碧
- ・ 「早く家事がしたい」症例の想いの実現に向けて
～橈骨遠位端骨折患者の作業に焦点を当てて～
米沢市立病院 塩野 愛
- ・ 心に音楽を取り戻す
～脊髄腫瘍発症後、心身ともに廃用をきたした症例を経験して～
篠田総合病院 奥山 佳菜
- ・ 依存的な症例との関わり
～家族や他職種との連携を通して～
公立高島病院 渡部 真紀
- ・ 若年の高次機能障害の方への認知症デイケアでの関わりについて
二本松会 上山病院 佐藤 知生
- ・ 手続き記憶の活用で P トイレ使用が可能となった事例
～アルツハイマー型認知症の方への働きかけ～
介護老人保健施設新庄薬師園 三原 裕子
- ・ 身なりへの関心の高まりから「している ADL」に繋がった症例
～化粧を通しての関わり～
篠田総合病院 朝倉 美波
- ・ トイレ動作自立に向けた介入
～両上肢での下衣操作に着目して～
日本海総合病院酒田医療センター 長沼 大
- ・ ADOC の使用により目標を共有できた左片麻痺の一症例
済生会 山形済生病院 志釜 光

- ・基本動作に重点をおいた関わり
 ～急性期脳卒中患者に対する作業療法～

山形市立病院済生館 土田 鮎美
- ・生活行為向上マネジメントにより新生活のイメージ作りが成功した一症例

鶴岡協立リハビリテーション病院 小野寺 祥
- ・家族の一員に戻るために
 ～調理を通して家庭内役割の再獲得を目指した症例～

鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院 齋藤 優希
- ・意欲が向上した事でしている ADL が増えた症例

介護老人保健施設景雲荘 渡邊 直美
- ・食事が自力摂取可能になった症例
 ～趣味である短歌を通して～

篠田総合病院 長岡 秀法
- ・発症から長期経過した症例の更衣動作への関わりを通して
 ～能動的な反応を引き出すために～

サテライト老健のぞみ 鈴木 麻衣子
- ・排泄動作から不隠軽減に繋げた症例

三友堂リハビリテーションセンター 齋藤 彩
- ・作業療法評価からみた急性期脳卒中患者の退院先

山形市立病院済生館 椿野 幸子
- ・当院回復期リハビリテーション病棟における脳血管疾患患者の自宅復帰要因の検討
 —FIM・家族人数・経済状況との関連性—

北村山公立病院 佐藤 絵里奈
- ・ホータブル 3次元動作解析装置を用いたまたぎ動作の特性について

山形県立保健医療大学 佐藤 寿晃
- ・段階的なモジュラー型車椅子の導入によるリハビリテーションの効果と今後の展望

最上町立最上病院 高山 悠二
- ・Moter Activity Log を活用した関わり
 ～ラクナ梗塞を呈した事例を通して～

済生会 山形済生病院 武田 宙樹
- ・人工呼吸器管理下での早期離床への関わり
 ～チームアプローチを通して～

山形市立病院済生館 仁藤 有美子
- ・上肢質量の簡易推定法と理論的妥当性について

山形県立保健医療大学 佐々木 学
- ・高校生への復学アプローチの経験

鶴岡協立リハビリテーション病院 板垣 紳太郎